

安全な治療のために 「子どもの体を固定する方法」

ドクターズコンテンツシリーズ #20-2

はじめに

耳鼻咽喉科の診察では**不安や怖さ**から、暴れてしまう子どもが多くいらっしゃいます。

しかし、診察では耳や鼻の**狭くて深い**ところを見なければならぬため、少しでも動いてしまうと確実な診断、安全な治療ができません。

素早く正確な治療をすすめるために、医師、スタッフより指示があったら次の手順を参考に**子どもの体を固定**してあげましょう。



Doctor

岩武耳鼻咽喉科医院

岩武 博也 先生

子どもの体を固定する手順

1



まずは保護者が椅子に座ります。

2



椅子に座った保護者の**太ももの間**に子どもを座らせます。

3



子どもの下半身を固定しましょう。
子どもの足を保護者の足で両側からはさみ、**両足をクロス**して押さえます。

4



子どもの上半身を固定しましょう。
子どもを抱きしめるように、**子どもの胸のあたり**で、保護者の**腕を交差**させ体を引き寄せます。
子どもの**胸が浮き上がらない**ように両腕でしっかりと上半身を抱きしめましょう。
※頭部はスタッフが固定します。

固定できていない例



このように手を押さえただけでは**上半身が動いてしまい意味がありません。**



ドクターより

「押さえつけるのは、かわいそう・・・」
と感じる方もいらっしゃると思いますが、
安全で正確な治療のために、愛情をもって子どもの
体を抱きしめてあげてください。
ご協力お願いいたします。

診察を怖がらせないためのポイント

診察の前に 子どもが理解できる言葉で診察の目的を伝える

診察を怖がっている子どもには、その子自身が理解できる言葉で「**診察をうける理由**」を伝えてあげましょう。

「**病気を早く治すためだから、動かないようにがんばろうね**」など
これから自分がされることの目的をあらかじめ知るだけでも、恐怖心は薄れていきます。



診察の後に 必ずほめてあげましょう

診察が終わったら「上手にできたね」「がんばったね」などと、**必ずほめてあげましょう**。
恐怖心も少しずつ薄れ、前向きな気持ちへと変化していきます。



ドクターからの健康アドバイス「ドクターズコンテンツ」
サイトでは様々な症例をご紹介します。

その他にも...

アイチケイト広場

- ・鼻呼吸の3つのメリット
- ・放っておくと危うい「鼻すすり」
- ・正しい鼻のかみ方
- ・鼻をかむ練習のすすめ方



パソコン



スマホ



ケータイから

<http://park.paa.jp/>